



進路だより



令和7年10月1日発行
進路だより 第5号
茨城県立結城特別支援学校
進路指導グループ

令和7年10月から「就労選択支援」というサービスがスタートします。

令和7年10月1日から障害者本人が高等部卒業後の就労先や働き方についてより良い選択ができるように、就労アセスメントの手法を活用して、本人の希望、就労能力や適性等に合った選択を支援する「就労選択支援」というサービスが開始されます。

就労選択支援ってなに？

(これまで)
就労アセスメント



(これから)
就労選択支援

～就労アセスメントを活用して～

高等部卒業後すぐに就労継続支援B型（以下B型）のサービスを受けることは制度上できません。そのため、卒業後にB型のサービスを希望する場合は、18歳の誕生日を迎えた後、就労移行支援のサービスを提供している事業所にて、就労アセスメントを行い、一般就労は難しいと判断された場合、高等部卒業後そのままB型のサービスを受けられるようになります。



就労選択支援とは、これまでのような卒業後にB型のサービスを受けるための就労アセスメントという考え方ではなく、本人の希望（A型就労や一般就労をしたい等）、就労能力や適性等に合った進路選択ができるように、就労アセスメントの手法を活用したり、ハローワークや障害者就業・生活支援センターなどの関係機関と連携を図ったりして、その子にとってどの就労先や働き方が合っているのかを支援できるようなサービスとなります。

そもそもなぜ就労選択支援のサービスができたの？

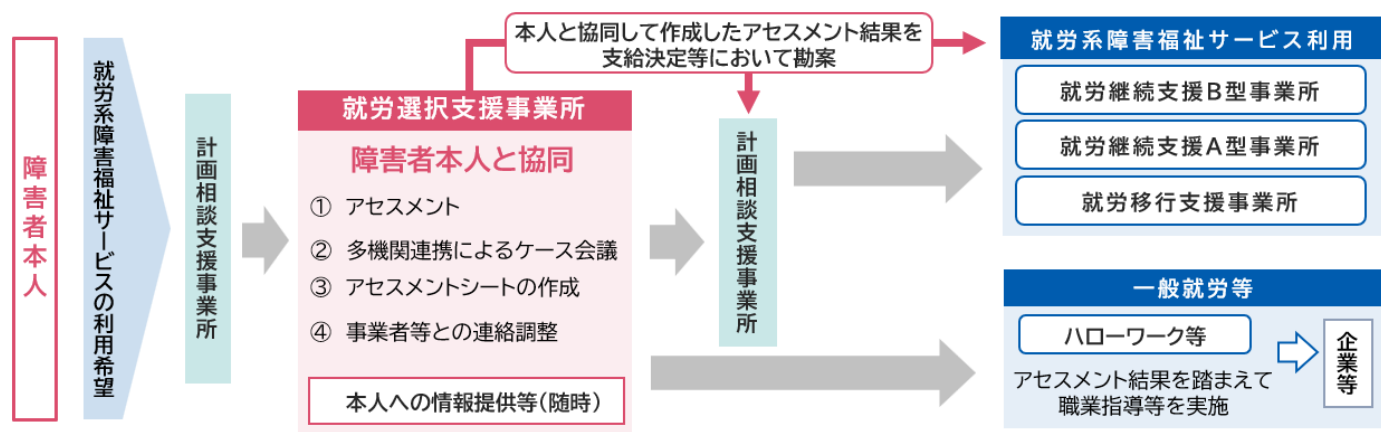
- ① その子の就労能力や一般就労の可能性について、本人や支援者が十分に把握できておらず、適切なサービス等につなげられていない点。
- ② 就労継続支援A型やB型のサービス利用が始まると、その他の施設に移動しづらくなる点。
- ③ その子の立場に立ち、次のステップを促す支援者が必要な点。

これまで以上の3つの点に課題がありました。そのためこれからは、その子の可能性について最大限評価して、例えば次のステップとしてB型から移行支援、そして障害者雇用を含む一般就労へと後押しすることを目的とした制度が就労選択支援となります。

就労選択支援の対象者

今の「就労アセスメント」は、卒業後B型のサービスを希望している高等部3年生（誕生日を迎えた18歳）が対象です。しかし、就労選択支援での就労アセスメントは、3年生以外であっても対象になります。また、複数回利用できるなどが検討されています。

就労選択支援のイメージ



筑西市の委託事業で就労支援
セミナーが行われます。

【日 時】10月18日(土)
10:00~12:10(9:30受付開始)

【場 所】ライフサポートヒラソル多目的ホール
住所：筑西市上平塚587-4

【内 容】第1部 就労選択支援について
第2部 それぞれの就労
第3部 介護者交流

※ セミナーに参加を希望される方は上のQRコード
からご来場される方1名様ずつお申込みください。



今回の進路だよりで紹介しました「就労選択支援」についての説明もありますので、ご興味のある方は、QRコードから直接申し込みいただくか、学校でセミナーのチラシを預かっておりますので、担任までお問い合わせください。



新しい福祉施設のご紹介

学校に開所のご案内をいただきました事業所をご紹介します

サービス	施設名	所在地	電話番号
生活介護	社会福祉法人めぶき会 いちごの里めぶきプラス	栃木県小山市雨ヶ谷 824-8	0285-37-7514

(提供するサービスと施設名、連絡先のみとさせていただきます)

この他にも、いろいろな福祉施設からパンフレットやイベント情報等のお知らせが来ています。ぜひ、学校にお立ち寄りの際には、正面玄関付近に掲示してありますので、パンフレット等をご自由にお持ち帰りください。